

学校再編だより



【北佐原小学区】
-第1号-

令和7年10月15日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

第1回 北佐原小学校学校再編に係る 地域検討会議が開催されました

10月8日(水)午後6時半から北佐原小学校会議室において、北佐原小学校学校再編に係る地域検討会議が開催されました。

はじめに、これまでの保護者意見交換の経過や、学校再編をする場合の流れについて説明があり、次いで北佐原小学校再編についての検討を進めるために地域検討会議を地域の方々20名で構成し、検討を始めることについて承認され、会長・副会長・理事が選任されました。

教育委員会から、昨年度実施した保護者アンケートの結果(裏面参照)等について説明があり、統合の形態、統合までのスケジュールなどについて意見交換を行いました。

「統合の影響を最も受けることとなる児童(未就学児含む)の保護者の意見を尊重した方がよい。」「統合時期は熟考した方がよい。」などの意見が出ました。

今後、北佐原小学校の学校再編について検討をすすめ、意見をまとめていくこととなります。



第1回地域検討会議の様子

※皆様のご意見をお寄せください。

第2回 北佐原小学校学校再編に係る小学校地域検討会議

日時・場所は決定次第お知らせします。

※ この会議は、傍聴することができます。

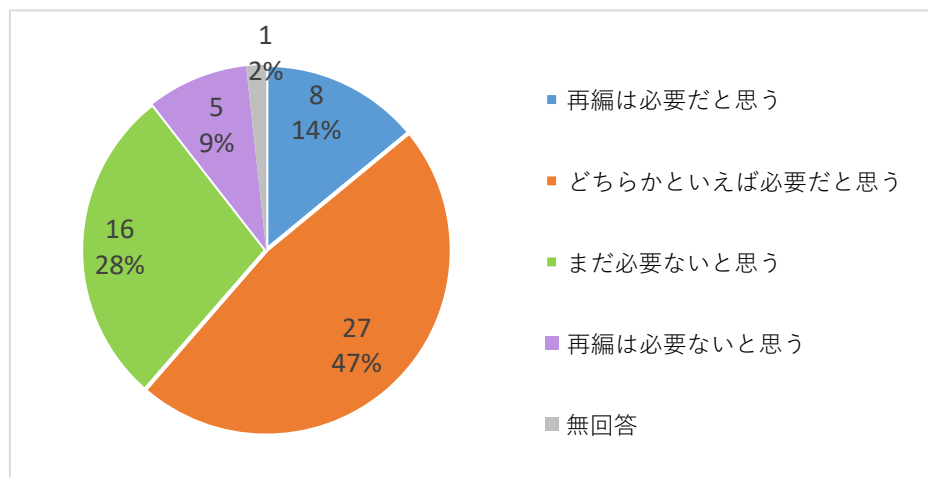
北佐原小学校再編に係る保護者アンケート 集計結果（抜粋）

対 象：北佐原小学校区の児童の保護者及び就学前児童の保護者

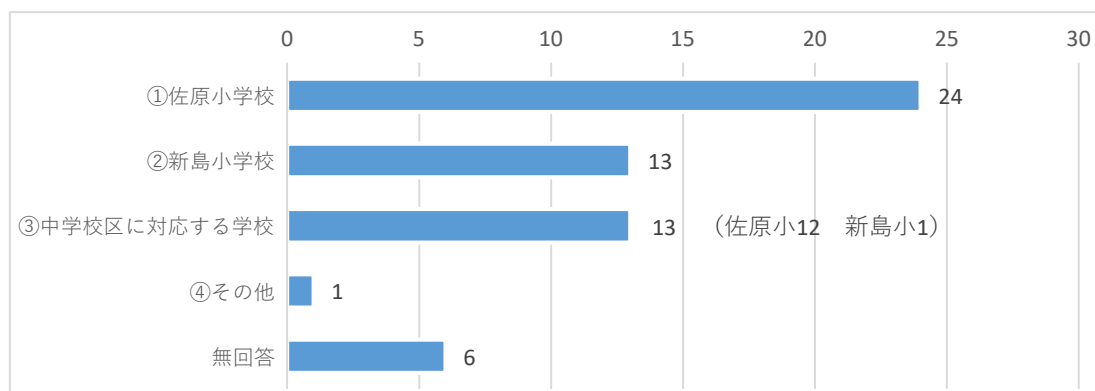
期 間：令和7年3月10日～令和7年3月18日

回答数：57通 回答率：77%

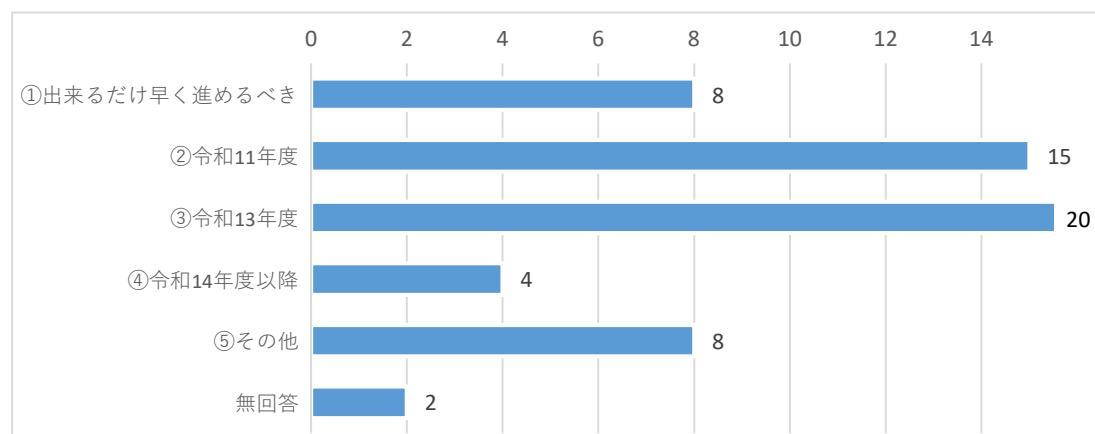
質問① 教育環境の維持、向上のため、北佐原小学校の学校再編は必要だと思いますか。



質問② 学校再編を実施する場合、どの小学校と学校再編することが望ましいと思いますか。



質問③ 学校再編を実施する場合、統合の時期は、いつ頃が望ましいと思いますか。



学校再編だより



【北佐原小学区】

－ 第2号 －

令和8年2月1日発行

香取市教育委員会教育総務課

☎ 0478-50-1220

第2回学校再編に係る地域検討会議を開催 － 活発な意見交換が行われました －

令和8年1月19日（月）午後6時30分から北佐原小学校2階会議室において、第2回北佐原小学校学校再編に係る地域検討会議（委員14名出席）が開催されました。

会議では、各委員が地域住民から聞き取った意見等について報告があり、それを基に全体で意見交換が行われました。

北佐原小学校の学校再編については、様々な意見があった中で、現状の小規模化及び今後の年少人口の減少を鑑みて、やむを得ないとの声が多く聞かれました。以上のことから、次回の地域検討会議にて、北佐原小学校の学校再編の是非について、意向をまとめる予定です。



▲第2回地域検討会議の様子

地域検討会議の目的

地域検討会議は、保護者や地域の代表者で組織し、「学校再編の是非」について検討協議を行い、地域の意向をまとめる場です。令和7年3月に実施した保護者アンケート（未就学児童の保護者を含む）の結果を基に、意見の集約を図っています。なお、学校再編をすすめる結論となった場合は、対等統合か、あるいは編入統合かについての検討も行います。

学校統合をすすめる場合の方向性

現時点で結論は出ていませんが、保護者アンケートの結果や、これまでのPTAや地域検討会議の意見を尊重し、総合的にまとめると、学校再編をすすめる結論となった場合の方向性は次のとおり想定されます。なお、学校再編の是非については、保護者アンケート結果では61%の方から「必要、あるいは、どちらかといえば必要」という回答をいただいています。

- ・ 統合先と方式 香取市立佐原小学校への編入統合 ※1
- ・ 統合する時期 令和11年4月1日 ※2

※1 保護者アンケートでは、64%の方が佐原小学校(中学校区に対応する学校)と回答。

※2 保護者意見交換会(R7.11.29)において、統合する場合の時期について意見を求め、決を採ったところ、僅差で令和11年度が多かった。教育委員会としては、統合先の受け入れ環境整備や児童の交流事業等の必要性を考慮すると、最短で令和11年度ではないかという考え。

《会議での主な意見等については、裏面のとおりです》

●第2回 北佐原小学校学校再編に係る地域検討会議で出た主な意見等

- 【意見1】 地域全体として、統合せざるを得ないという風潮が強い。
- 【意見2】 まだ統合は早いのではないかとの意見が一部あった。
- 【意見3】 地域住民の意見がバラバラであり、方向性やリーダーシップが不足していると感じた。学校再編の議論が迷走しないために、明確な道筋が必要だ。
- 【意見4】 地域の児童数が著しく減少しており、学校の維持が困難との意見が多い。
- 【意見5】 複式学級では、学校運営が困難との意見がある。
- 【意見6】 保護者から放課後児童クラブは地元で運営してほしいとの要望あり。運営場所としては、現在の施設を活用すべきとの意見。
- 【意見7】 子どものいる家庭やこれから入学する就学前児童の保護者の意見を重視すべきである。
- 【意見8】 地域の意見収集よりも、統合に向けての方向性を早急に示すべき。併せて、統合スケジュールの迅速な提示が必要。
- 【意見9】 親の選択が子どもの通学先に大きく影響する。隣接する茨城県稲敷市への通学事例があり、通学距離や通学方法（スクールバス等）が重要である。
- 【意見10】 統合先を佐原小学校に決めたほうが、子どもたちにとって良いとの保護者意見が多数。佐原小学校と統合することにより、早期から大勢の友人関係の形成が出来る良さがある。
- 【意見11】 もし北佐原小学校がなくなったら、若い人たちが地元に戻ってこなくなる可能性がある。
- 【意見12】 保護者の意見を重視しつつ、統合スケジュールを迅速化すべきだ。
- 【意見13】 保護者アンケート結果や住民の意見を基に、教育委員会から統合方針を示してほしいという意見が多く、市の提案で方向性を示し、話し合いを集約すべきである。

<参考> 北佐原小学校の児童数と将来推計

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
児童数	70	70	67	65	58	49	46	42

注）R8以降（赤字）は、住民基本台帳人口（令和7年5月1現在）を参考に推計

【次回日程】第3回 北佐原小学校学校再編に係る地域検討会議

日時 令和8年3月2日（月） 午後7時から

場所 北佐原小学校 2階会議室

※ この会議は、傍聴することができます。

学校再編だより



【北佐原小学区】

－ 第 3 号 －

令和 8 年 4 月 1 日発行

香取市教育委員会教育総務課

☎ 0478-50-1220

第 3 回地域検討会議 検討結果まとまる

【令和 11 年 4 月に佐原小学校へ統合】

3月2日（月）午後7時から北佐原小学校2階会議室において、第3回北佐原小学校学校再編に係る地域検討会議（委員15名出席）が開催されました。

会議では、各委員から意見表明が行われ、取りまとめの結果、今後の児童数の減少を考えれば、今の教育環境を維持することは難しく、統合はやむを得ないと結論が出されました。

また、3月27日（金）に行われた地域検討会議の理事会で、検討結果報告書が作成され、教育委員会へ提出されましたので、お知らせいたします。

（検討結果報告書【抜粋】は、下記及び裏面のとおり）



▲第3回地域検討会議の様子

今後は、令和8年度から統合準備委員会を設置し、本格的な統合準備に取り組んでいきますので、地域や保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

北佐原小学校学校再編に係る地域検討会議 検討結果報告書【抜粋】

教育委員会から提案のあった北佐原小学校の学校再編について、地域住民の代表者及び保護者の代表者で組織する北佐原小学校学校再編に係る地域検討会議を設置し、検討協議を行ってきた。

この度、その検討結果がまとまったので、北佐原小学校学校再編に係る地域検討会議設置要綱第2条の規定に基づき、下記のとおり報告する。

記

1. 検討結果

教育委員会が提案する「北佐原小学校が佐原小学校へ統合すること」について、小学校は明治6年の創立以来、地域と共に歩んできた歴史と伝統があり、また地域のシンボルでもあることから閉校となることは非常に惜しまれる。

しかし、人口減少・少子化の影響により、学校の小規模化が深刻な状況となっており、教育環境の改善が喫緊の課題となっているため、次代を担う子どもたちのことを最優先に考え、統合はやむを得ないと判断し、佐原小学校へ統合することに賛成とする。統合時期については「令和11年4月1日」とし、「佐原小学校へ統合する」ことで合意に至った。

なお、教育委員会は、円滑に統合が実現されるよう努めるとともに、統合に伴い、保護者が心配している事項の解消、各校の児童・保護者の一体感の醸成を図り、学校の統合が順調になされるよう尽力されたい。

2. 検討経過（省略）

3. 検討協議の概要

令和7年3月に北佐原小学校の再編について、保護者の意向を確認するため、北佐原小学校児童の保護者及び北佐原小学区就学前児童の保護者を対象としたアンケート調査が実施された。

アンケート結果に関して、北佐原小学校の統合の必要性については、「必要」が14%、「どちらかといえば必要」が47%、「まだ必要ない」が28%、「必要ない」が9%、無回答が2%であった。統合先については、「佐原小学校」が42%と一番多く、「中学校区に対応する学校」を含めると、中洲地区以外は佐原中学校に通学となっているため、自然と佐原小学校を選択する割合が増え、60%以上が佐原小学校を望んでいるという結果となった。

また、統合の時期については「令和13年度」が35%と一番多かったが、「出来るだけ早く進めるべき」と「令和11年度」、「その他」を合わせた回答に対し、「令和13年度」と「令和14年度以降」、「その他」を合わせた回答が同数であった。

本アンケート結果を基に、令和7年5月に北佐原小学校児童の保護者及び北佐原小学区就学前児童の保護者とアンケート結果を踏まえた意見交換会が開催され、地域検討会議を設置して北佐原小学校の学校再編に向けて議論を進めていくことが了承された。これに伴い、教育委員会からの要請により、地域の意向を集約するため、「北佐原小学校学校再編に係る地域検討会議」を設置した。その後、会議の中で、統合先はアンケート結果に基づき「佐原小学校」に決定し、統合時期については、「令和11年度以前」と「令和13年度以降」で同数となっていたため、再度保護者による意見交換を行い多数決を取ったが「令和11年度」が10名、「令和13年度」が9名、「どちらともいえない」が6名と意見が分かれたことから、統合時期の決定については教育委員会に委ねることとなり、統合時期については、「令和11年度」に決定した。

北佐原小学校の児童数は令和7年5月現在70名であり、香取市において学校再編を検討する基準120人を大きく下回っている状況である。

地域検討会議では、児童数が減り続けている現状に対する不安の声が多く聞かれ、子どもたちの教育環境の悪化が懸念されていた。また、仮に統合となった場合の通学方法や放課後児童クラブについて心配する声もあった。

教育委員会の説明では、統合により通学距離が著しく伸びる児童が安心安全に通学できるよう、スクールバスを運行する予定であり、通学距離が2キロ以上となる児童を対象とするとのことであった。放課後児童クラブの開設場所については、担当課である子育て支援課において、希望調査を踏まえて検討する旨の説明があった。

また、学校の小規模化に関しては、一人の先生に対する児童の人数が少なくなることで、児童一人ひとりに対して、より手厚い教育ができるのではないかと意見も出たが、その一方で「男女比の偏りが生じやすい」、「児童からの多様な発言を引き出しにくい」など、人数の規模に起因する教育上の問題点があり、加えて、子どもたちにとって、友達が少ないまま6年間を過ごすことがどうかと考えたとき、社会性や競争心といったものも培われていかないと考えられる。

これらの内容を踏まえ、検討結果の取りまとめを行った結果、北佐原小学校を統合することはやむを得ないと判断することとなった。